

令和5年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

5年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の関係を押さえて心情を把握するなど、読むことの到達度に差がある。（到達度60%～90%） ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることに課題が見られる。（到達度50～90%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える活動を行う。 ○説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動を取り入れる。 ○文章を要約したり、字数や様式などの条件がある書く活動を行ったりする。 ○友達とお互いの文章を読み合い、互いの言葉の使い方や表現の仕方に着目して良さを見付ける活動を行う。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を効果的に活用して表現する力に課題が見られる。 ○社会的事象の意味について考えたり、調べたことや考えたことを表現したりする力に課題が見られる。 <p>以上2点から、思考・判断・表現力の到達度に差があると考えられる。（到達度30%～90%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を活用する機会を取り入れ、複数の資料から関連付ける力を伸ばす指導をする。 ○読み取った事柄から学習問題を設定し、資料を十分に活用し、「社会的事象の見方・考え方」を働かせ、学習問題を追究したり、解決したりすることを通して「社会的な見方・考え方」を育むようにする。 ○統計的資料の読み取りを丁寧に行い、児童の気付きを友達同士で説明し合ったり、意見を交流したりする活動を取り入れ、表現する力を伸ばしていけるようにする。 	

理科	<p>○実験の条件整理、実験結果の考察など、科学的に解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の到達度に差がある。 (到達度20%~80%)</p>	<p>○観察や実験の結果の考察を丁寧に行う。その際に、考察の視点を全体で確認したり、説明に必要な用語や語句を板書して明示したりするなど、児童一人一人が自力で表現できるように支援する。また、考察したことを全体で検討し、問題解決の活動を振り返ることで、「理科の見方・考え方」を豊かで確かなものとしていく。</p>	
体育	<p>○体育の学習に意欲的な児童は多いが、自分の学習課題を見だし、その解決に向けて思考し、判断する力が十分に身につけているとは言えない。 (到達度30%~80%)</p>	<p>○「する、見る、支える、知る」など様々な視点から運動に親しむことができるように指導をしていく。 ○自己の学習活動を振り返る時間を必ず設定し、学習カードに次時の課題を記入してから次の学びにつなげることができるようにする。</p>	
学習の時間 総合的な	<p>○自ら課題を設定し情報を整理する力はできている。しかし、情報を発信する経験が乏しく、表現する力に課題が見られる。(到達度20%)</p>	<p>○様々な情報発信の方法の良さを伝え、効果的な手段を選択して、自ら情報発信ができるようにする。また、ICT 機器を積極的に活用し、友達とお互いの発表の仕方のよさを見付け合う活動を取り入れる。</p>	